

広報活動

広く県民の疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に対する関心を高め、予防医学について正しい知識の普及により適切な疾病予防行動や健診・検査の受診に繋げ、県民の健康づくりを推進するために普及啓発事業を実施した。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルス対策のために各種メディアの活用やイベントの開催・参加などによる普及啓発活動を県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら積極的に展開した。

1] 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 結核予防週間運動の実施（9月24日から30日）

1) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核予防に関する普及啓発を行った。

- ① ポスター 980部
- ② パンフレット 14,300部

2) 結核予防に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディアを活用した普及啓発を行った。

- | | | | |
|------|------------|----|-------------|
| ①テレビ | 45秒告知 | 1種 | 8回（とちぎテレビ） |
| ②ラジオ | 20秒告知（※） | 1種 | 24回（エフエム栃木） |
| | 60秒告知 | 1種 | 5回（エフエム栃木） |
| ③新聞 | 1面突出しフルカラー | 1種 | 1回（下野新聞） |

（※）当事業団の職員によるラジオ収録・放送

(2) 複十字シール運動の実施

1) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール募金運動」に協力し、9月から12月まで募金活動を実施した。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられる。

・令和3年度募金額 1,479,034円

2) 結核など胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受けて実施を見送ることとし、文書にて複十字シール運動への協力を依頼した。

3) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的として例年実施していた「複十字シール運動街頭キャンペーン」は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受けて実施を見送った。

2] がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

1) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施し、県や市町等のほか、近年の「がん教育」をめぐる状況を踏まえ、小、中、高等学校及び大学、専門学校など県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行った。

- | | |
|--|---------|
| ① ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,270部） | 計2,540部 |
| ② リーフレット2種（がん検診：3,500部、乳がんのセルフチェック：4,500部） | 計8,000部 |
| ③ 冊子（がんを知ろう） | 2,300部 |

2) がん検診に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディア等を活用してがん征圧運動を周知した。

- | | | |
|-------|----------------|---------------------|
| ① テレビ | 45秒告知 | 1種 15回（とちぎテレビ） |
| ② ラジオ | 60秒告知 | 2種 22回（エフエム栃木） |
| ③ 新聞 | 1面突出しフルカラー | 1種 1回（下野新聞） |
| | 折込紙見開き1/2フルカラー | 1種 1回（下野新聞折込紙「アスポ」） |
| | 栃木版半3段モノクロ | 1種 1回（読売新聞） |

④ 立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置）1ヵ所

3) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9月1日から10日に宇都宮タワー（八幡山公園）で実施したほか、令和3年度は9月16日から10月15日に栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施するなど、がん征圧運動を展開した。

4) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的として例年実施していた「がん征圧街頭キャンペーン」は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受けて実施を見送った。

(2) がん征圧募金運動の実施

がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行った。

・令和3年度募金額 3,151,593円

(3) がん検診啓発セミナーの開催

がん検診の普及啓発を目的として県内を巡回して行う「がん検診啓発セミナー」は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受けて実施を見送った。

(4) 県内プロスポーツ試合での普及啓発

10月の乳がん月間に、男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の宇都宮ブレックス主催試合の冠スポンサーとなり、10月8日、9日の2日間ブレックスアリーナ宇都宮で乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行った。

(5) がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とがん患者及びその家族と支援者やボランティアなどによる地元実行委員会が主催するがん患者支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021とちぎ」は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受けてオンライン開催となった。当事業団はルミナリエに協力した。

(6) その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載等を行い、がん検診受診率向上のための啓発活動を行った。

① テレビ	45秒告知	5種 45回 (とちぎテレビ)
② ラジオ	20秒告知 (※)	4種 77回 (エフエム栃木)
	60秒告知	2種 21回 (エフエム栃木)
③ 新聞	1面突出しフルカラー	4種 5回 (下野新聞)
	半3段モノクロ	1種 1回 (下野新聞)
	栃木版突出しモノクロ	1種 1回 (読売新聞)

(※) 当事業団の職員によるラジオ収録・放送

3] 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 週間・月間に関する普及活動

禁煙週間 (5月31日から6月6日)、糖尿病予防・重症化防止強化月間 (11月1日から30日) に併せ、それらの予防に関する普及啓発ポスターやパンフレット及びリーフレットの配布等を行い、各種週間・月間に関する意識の高揚と正しい知識の普及を行った。

① 禁煙週間

・ 禁煙ポスター (配付) 282機関

(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・
食品環境検査所・事業団打合せコーナー

・ 禁煙関連パネル、肺がん・タールモデル等 (展示) とちぎ健康の森人間ドックフロア

② 糖尿病予防・重症化防止強化月間

県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布等を行い、糖尿病と重症化防止のための啓発活動を行った。

・ 世界糖尿病デーポスター (展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・
食品環境検査所受付

・ リーフレット (配布) 4種 計400部 とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

(2) マスメディア等を活用した普及活動

1) 生活習慣病予防等に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディアを活用して健診・検査等の意義や目的を周知し、受診率向上を図った。

① テレビ	45秒告知	8種 115回 (とちぎテレビ)
② ラジオ	20秒告知 (※)	5種 103回 (エフエム栃木)
③ 新聞	1面突出しフルカラー	8種 8回 (下野新聞)

半3段モノクロ 1種 3回（下野新聞）
 栃木版半3段モノクロ 2種 4回（読売新聞）

（※）当事業団の職員によるラジオ収録・放送

2) 生活環境に関する正しい知識の普及のために、マスメディアを活用して簡易専用水道検査等の受検勧奨を行い、県内の公衆衛生の向上を図った。

① ラジオ 20秒告知（※） 1種 21回（エフエム栃木）

（※）当事業団の職員によるラジオ収録・放送

3) 食品衛生月間（8月1日から31日）に合わせ、手洗いの励行や食品の温度管理等に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞の告知掲載などを行い、意識の向上と知識の普及を図った。

① テレビ 45秒告知 1種 15回（とちぎテレビ）

② ラジオ 20秒告知（※） 1種 31回（エフエム栃木）

③ 新聞 1面突出しフルカラー 1種 1回（下野新聞）

（※）当事業団の職員によるラジオ収録・放送

（3）関係機関等との連携・協力による普及活動

1) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントに例年協力し、パネル展示やリーフレット・啓発品の配布を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行ってきた。しかし、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受けて多くのイベントの実施が見送られたことから、協力においては一部のみとなった。

・とちぎ健康の森「健康づくり」day（社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森/6月5日・6日）

禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配付

2) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付した。

- ・複十字誌（公益財団法人結核予防会） 2,664部
- ・健康の輪（公益財団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会） 243部
- ・対がん協会報（公益財団法人日本対がん協会） 7,397部
- ・予防医学ジャーナル（公益財団法人予防医学事業中央会） 216部

3) 「家庭からの生活習慣病等予防」を推進するために、栃木県地域婦人連絡協議会と連携して、普及啓発活動を行った。

4) 令和4年に栃木県で開催予定の「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の成功と社会貢献活動の一環として、また事業団のイメージアップ・認知度向上を目的に、大会ロゴマーク入りトートバック2,000個を協賛物品として提供した。

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査等を受診することが非常に重要であることから、ホームページや定期情報誌を通じて健診・検査等の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図った。

1] ホームページの公開

事業内容や採用情報など、当事業団の情報や調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康保持増進に役立つ情報を配信した。

また、厚生労働省や栃木県のホームページ等から収集した新型コロナウイルス感染症に関する情報を、サイト閲覧者が利用しやすいようにまとめた啓発資料を公開した。

2] 定期情報誌の発行

健康や環境に関する最新情報や保健事業への取組及び活動状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行し、県、市町、受診団体、医療機関、大学や全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開した。

また、食品検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともにノロウイルスの予防や検査について周知するために、広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行し、食品検査の受検機関や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開した。

3] 看板等を利用した普及啓発

JR宇都宮駅改札前通路の構内広告設備を利用して、生活習慣病及びがん検診に関する看板を作成・掲出し普及啓発を通年実施した。また、栃木県庁舎のエレベーター内にもがん検診の受診を啓発するポスターを掲出し普及啓発を通年実施した。